

松本糸魚川連絡道路 大町市街地区間

道路計画に係る説明会（第2回）（質疑応答要旨）

日時：令和8年3月26日（木）午後6時30分から午後8時

場所：サン・アルプス大町 2階 大会議室

○質問 1-1

- ・松糸道路は盛土で話が進んでいるが、大町ダムの土砂を使うために盛土として計画していると噂になっている。大町ダムの土砂を使うために盛土構造はおかしいのではないか？

●回答 1-1(大町建設事務所)

- ・12月の説明会でも、同じような質問をいただいたが、大町ダムの堆砂土砂を使うために松糸道路を計画しているわけではない。今後の検討の中で、選択肢の一つになる可能性はあると説明会でも回答させていただいた。

○質問 1-2

- ・野口橋はS38に竣工した。今あるインフラが維持できないのに、人口減少時代にどうやって今のインフラを維持していくのか？

●回答 1-2(大町建設事務所)

- ・県が管理する橋梁などは5年に1回の法定点検に基づき、補修設計・工事をしている。人口減少に関しては、市からも説明があったとおり、そうならないように松糸道路の整備を県と市で協力して進めていきたい。

○質問 1-3

- ・大町ダムからの土砂を使う可能性はあるということで良いか？

●回答 1-3(大町建設事務所)

- ・現時点ではダムの土砂で盛土することは想定していないが、将来的に、関係機関との協議等の中でダムの土砂を利用することが有利であれば、盛土に活用する可能性はある。

○質問 1-4

- ・橋の耐用年数は50年。66年経っている野口橋を架け替えないのはなぜか？

●回答 1-4(大町建設事務所)

- ・耐用年数が50年という明確な基準はない。法定点検や必要な補修措置をしている。

○質問 2

- ・宮田町の分断道路となる松糸道路計画において、一部、都市計画道路と交差する区間がある。その部分は橋梁とする計画であるが、県道槍ヶ岳線の改良の進捗は？

●回答 2-1(大町建設事務所)

- ・宮田町を走る都市計画道路の計画はある。現在の県道槍ヶ岳線は道が狭く、人家が沿線に張り付いているが、改良計画は立ち止まっている。松糸道路に合わせて整備を行っていきたいと考えている。

●回答 2-2(大町市役所)

- ・都市計画道路については、側道や横断道路、町内の生活道路の付け替えを含めてどういった道路網にするのがいいか、一体的に考えていきたい。

○質問 3

- ・P53条申請に該当する建築物について、アパートの駐車場とかは対象となる？

●回答 3(大町建設事務所)

- ・駐車場については、一般的に許可申請は不要。都市計画区域の中に建築物を建てないように規制するためのもので、建築物に限られる。

○質問 4

- ・東京からの移住者で、松糸道路の計画を知らずに暮らしていた。9 カ月の子がいるが、児童館に暖房器具もなく、税金が必要なところに使われていない状況で道路があるのか？松糸道路によって住民の人口密度の低下につながるような、大町市の景観の維持などに影響が出るため、移住してきた身からすると、大町の魅力が減ってしまうことにではなく、税金の使い道を検討して欲しい。

●回答 4(大町建設事務所)

- ・児童施設の環境整備に税金を使うことは重要だと思う。取り組むべきことであるとともに、市の将来を考えたときに、松糸道路は市も県も必要な道路ネットワークと考えている。

○質問 5

- ・松糸道路を作ることでもまちづくりという雰囲気を出しているが、まちづくりは道路が先ではなく、子育てしやすい、公共交通が使いやすい、高齢者には施設が安心して使えるように、生活の基盤を整えるのが先ではないか？まず道路があってでは、ものの見方が逆さまで、工事に 10 年以上かかっている間にも人口は減っていく。人口減ってから道路が出来ても、公共交通や生活基盤の整備は難しい。生活基盤があってこそその道路ではないか？この道路を急いで作る必要は全くない。

●回答 5-1(大町市役所)

- ・今後のまちづくりの考え方には様々な方法がある。生活基盤の充実も必要。かつ道路も必要。大町市で様々な施策を掲げ、議会でも説明しながら進めているところである。道路ありきではないが、ほかの施策とあわせて進めていきたいので、ご理解願いたい。

●回答 5-2(大町市役所)

- ・生活基盤も重要である。大町市が管理する橋梁は 330 橋ある。市で点検管理してなるべく長く使えるように計画的に修繕をしている。県も同様である。道路の舗装も同じ。公共交通についても、どうやったら維持できるのか持続可能な施策を交通事業者と協議をしている。いろんな施策を進めていることにご理解いただきたい。

○質問 6-1

- ・この道路計画の基本的な話だが、大町の魅力は、他の地域からみてどのようなところにあるだろうか。県外からは、白馬や安曇野や松本は知っているが、大町はどこか知らないことが多い。松糸道路を作ることで大町の魅力を上げる施策、通る人が足を止めて観光やお金を落としてもらう策はあるのか？

●回答 6-1(大町市役所)

- ・この地域は高速交通が無い地域なので、この地域に高速交通網を設ける。松糸道路を作るにあたっては、ルート帯、ルート線を示してきた。道路整備による効果について、明確な目標は無いが、人口減少が進んでいく中で、生活サービス施設が市街地の外にあるため、道路整備に合わせて集約するなど、どんな施策を打っていくかは、大町市の総合計画で検討しており、現時点では明確なものは無い。

●回答 6-2(大町市役所)

- ・現在の説明はまだ検討段階の話であり、松糸の計画にまだ時間を要するので、企業誘致や観光などの具体的な施策は踏み込めない状態であることをご理解いただきたい。

○質問 6-3

- ・工事期間について、いつも通れた道が通れなくなるので、大町市外から来る人が迂回していく。沿線の道路へ白馬方面から帰るのお客さんが集中すると交通渋滞が起きるのでは？また、工事で分断される地域では、自宅に帰るのに遠回りになる。未来にある子供たちの生活を考えて欲しい。

●回答 6-3(大町建設事務所)

- ・生活道路の迂回ルートを示してほしいという点については、基本的には道路の新設バイパスになるので、大町市内の現在の4車線の国道は引き続き通行可能である。街中の交通は工事車両の増加はあっても大きな影響はない。ICが出来る箇所については、今の交通へ制限はかかる可能性がある。現時点で迂回路について細かい検討は無いが、詳細な設計が出来次第、地元の方々に説明をさせていただきたい。生活道路の迂回についても、今回のルート線に理解をいただいた後に、それ以降の手続きに進めれば、詳細設計を進める中で順次示していきたい。

○質問 6-4

- ・松糸道路に期待している人もいる。松糸道路で困る人もたくさんいる。市の施策が決まっていない状況だが、松糸道路と市道がどのように接続してどう使われるのかといった、幅の広い説明があってもいいのではないか。もう少し、大町市の施策に必要な道路という説明があれば、賛同が得られるだろうし、説明をしていって欲しい。

●回答 6-4(大町建設事務所)

- ・今後もみなさまへの説明は進めていく。設計の進捗に合わせてお話しさせていただきたい。

○質問 7

- ・市からの説明では高速道路と言ったが、松糸道路は高速道路でない。6分短縮のため、なぜあえて、市街地を分断する道路を作るのか。高速道路ではなく、地域高規格道路である理由を教えてください。

●回答 7-1(大町市役所)

- ・高速道路ではなく、高速交通網と説明させていただいたので、ご了承下さい。

●回答 7-2(大町建設事務所)

- ・地域高規格道路を整備する計画。オリンピック道路の信号交差点を立体化してスムーズにしても、地域高規格道路の基準を満たさない。また、地域高規格道路は、沿道からの乗り入れ制限しなければならない。信号だけの立体化だけでなく、市道を集約して側道を整備してICから乗り降りするとなると、側道整備でオリンピック道路沿線の住宅移転が必要になるため、新設道路のほうが有利となるため、現在の計画で進めている。

○質問 8

- ・松糸道路のルート選定のあり方について、疑問に感じている。大町市の人口が多い住宅地を最適ルートにしたのはなぜか、何も説明が無い。ICの位置も、ルートを変えれば住宅への影響が変わる。優良農地をつぶすことも問題がある。さらに、12月の説明会で、住民意見を聞いてルート線を検討しているかと質問したところ、住民意見は反映していない、道路構造令に基づくと回答があり、みなさんがっかりした。盛土の高さも当初の話よりも高くなっている。このまま計画を進めていくことにがっかりしている。
- ・大町市のまちづくりに必要ならば、大町市がルートABCを決める議論を主体的にやるべきでは？県に任せているのはおかしい。大町市のまちづくりに大町市の主体性がない。まちづくりに関する検討は道路計画がある程度決まってからというのはおかしい。大町市には考え方を改めて欲しい。

●回答 8(大町市役所)

- ・ご意見はこれまでもいただいている。ルート選定については繰り返し説明をしているので、説明が無いという発言は驚いている。ABCのルートから市が決めたのではなく、6つの観点について大町市として県へ配慮して欲しいと伝えたことは事実であり、県だけでなく、市の意見も含めてルートを検討してきた。

○質問 9-1

- ・P8の工事区間が8工区ある。要するこの年数を足すと総工事期間か？

●回答 9-1(大町建設事務所)

- ・用地の取得状況によるが、工区を並行して行うことが現実的と考えている。あくまでも、沿線にお住まいの方が近隣で工事をする期間に理解をしていただくための資料である。

○質問 9-2

- ・例えば、盛土区間 1 (工期 2 年) と 2 (工期 2 年半) が用地買収できたら、1 と 2 は 2 年半で完成するということか？ダブれば短縮可能ということでもいいか？

●回答 9-2(大町建設事務所)

- ・この資料においては、その通りである。

○質問 9-3

- ・地域高規格道路の目的や効果、災害への備えなど、全くもって正解だと思う。長野県の道路網は、東信の上信道路、中部横断道や南信の三遠南信道、中信でも中部縦貫道など盛んに工事中である。東西南北に道を作っていることは喜ばしい事である。そこで、疑問に思うのは、松糸道路が高速道路ではないのはなぜか？出来上がってから高速道路への格上げは可能なのか？

●回答 9-3(大町建設事務所)

- ・過去からの経緯があって地域高規格道路を整備している。高速道路で整備が出来ない中で、高速道路を補完する地域高規格道路の検討に至った。過去の経緯を確認し、現道活用区間の整備もあるので、地域高規格道路から高速道路への格上げは難しいと思うが、HP 等で掲載して回答したい。

○質問 10

- ・P13 の日照の資料について、どこの盛土区間で、盛土高は何mのイメージか？

●回答 10(大町建設事務所)

- ・区間は P9 の⑥の北の端で、盛土高 7m である。